

2 小平市男女共同参画推進審議会の意見

市は毎年、計画の推進状況を市長の附属機関「小平市男女共同参画推進審議会（以下「審議会」）に報告し、公表をしています。

令和元年7月29日に開催された審議会で、平成30（2018）年度の事業実績が確認され、今後の事業展開に向けた意見をいただきました。

《全体について》

- ・平成30年度は、小平アクティブプラン21（第三次小平市男女共同参画推進計画）の2年目であり、施策ごとに令和2年度までに達成すべき数値目標と実績数値（6ページ）を比較すると、全般的に目標値に近い状況になっており、基本目標Ⅳの累計数値は、既に目標を上回っている。
昨年度の審議会からの意見を反映した事業もいくつか見られる。今後も継続して推進していただきたい。
- ・男女共同参画に関する啓発・広報について、市民や事業者に的確に届け、参加や実現につなげる方法についても引き続き検討いただきたい。情報発信ツールとして『小平トピックス』があるが、若い世代がアクセスしやすいツールを活用した情報提供をお願いしたい。広報誌についても配架場所や配布方法の工夫、例えばPTAなどの保護者を通じた配布などでさらに市民の目に届くよう検討いただきたい。
- ・事業を推進していくうえで、今年度は実績の出なかった事業についても引き続きの男女共同参画の取組を促すため、継続して実施していただきたい。

基本目標Ⅰ 男女共同参画によるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現

効果的な広報という観点から、広報誌やちらしを児童館や地域センターでの子ども広場、子育てふれあい事業など産休育休中の子育て期の人が集まる場所へ手厚く配架するのがよいのではないかと。また広報誌『ひらく』は市民協働で作成していること、編集員である実行委員は公募していることをもう少し強調して紙面に掲載することで、参加する市民の広がり、認知度が高まるのではないかと。紙媒体だけでなく、広く気軽に見てもらえるようアプリで発信できるといいのではないかと。

重点項目である『男性の家庭参加（家事、育児、介護等）の推進』について、父親参加の講座がいくつか実施されているが、今後も回数を増やし父親参加が広がるよう継続をお願いしたい。

基本目標Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画と女性活躍の支援

平成30年度は保育の利用実績がなかった講座もあるが、子育て世代にとっては重要な取り組みなので、今後も講座や研修での保育は継続をお願いしたい。広報誌『ひらく』へ女性の起業について特集したことは、子育て期であっても起業が可能であることがイメージしやすくなり、重点項目の『女性の就業・活躍の支援』へとつながっていくことが期待できる。

基本目標Ⅲ ささまざまな困難を抱える方にとっての安全・安心な暮らし

女性相談について、件数増加が月曜日の相談時間を2時間延長したことに起因しているのであれば、他の曜日も相談時間の延長の検討をしてはどうか。また、現在は電話予約・電話相談・面談のみとなっているが、気軽に相談できるツールとしてLINEやメールの活用を検討してはどうか。ただし、メールでの相談は真意が伝わらず、トラブルを誘発することもあるため、十分な検討が必要である。

デートDV防止啓発講座の実施件数が増加したことは非常に評価できる。現在、中学生、大学生に対して実施しているが、ハラスメントを行わないためには広い世代への意識啓発が必要であることから、高校生へも実施していただきたい。また、市内事業者へもハラスメント防止の周知徹底を図りたい。

基本目標Ⅳ 男女共同参画の推進体制の強化と環境の整備

防災危機管理課における出前講座「デリバリーこいだいら」の参加者累計数が令和2年度の数値目標を上回ったことは評価できる。避難所運営マニュアルの作成について作成済や作成中の避難所が増加傾向であるが、未作成の避難所については早急な対応をお願いしたい。

市政運営への女性の参画状況

職員の事務系管理職女性割合は決して高くはないが、今後管理職を担う事務系係長職女性割合は順調に増えている。急激に事務系管理職女性割合が高まることはないだろうが、着実に増えていくよう環境を整えていただきたい。